連盟ニュース 神奈川　１１月

No.514

「北八ヶ岳雨池」（みずなら山の会　中嶋剛）

事故一報」の送付先をお知らせします。

＊「事故一報」の全国・県連へ迅速な連絡＊

全国窓口：労山基金制度運営委員会メール kikin@jwaf.jp/FAX03-3235-4324

県連窓口：遭難対策部メール及び基金申請書は、ホームページの連盟員のページから

神奈川県勤労者山岳連盟

〒221-0045　横浜市神奈川区神奈川２－１４－６　トーリクビル３階

http：//www.k-rouzan.net/

発行責任者　早川尚武

発行年月日　２０２３年１１月１５日

１１月号（Ｎｏ．５１４）　目　　次

北八ヶ岳紀行文 ―――――――――――――――――――――――――――――― ２
２０２３年度神奈川県連　交流会（ハイキング部門）の活動について ―――――― ３
神奈川県連救助隊山行（７月１５日～１７日） ―――――――――――――――― ３
常任理事会議事録 ―――――――――――――――――――――――――――――― ６
読図実技講習会報告　倉岳山 ―――――――――――――――――――――――― ７
関東ブロック 救助技術交流会　報告書 ―――――――――――――――――――― ９
各会の活動報告 ―――――――――――――――――――――――――――――― １１
県連のスケジュール ―――――――――――――――――――――――――――― １４

北八ヶ岳紀行文（１０月２２日，２３日）

みずなら山の会　　中嶋　剛

今回の山行は、登山と文化の教養講座（秋）で山口耀久氏の著書『北八ツ彷徨』を読んだ関連山行である。山口耀久氏は、八ヶ岳にしばしば訪れ精通し、自分の庭のように愛着を持っていたようだ。麦草峠駐車場は公営でトイレもあり、無料（トイレ協力金あり）だった。前泊と翌日の２泊車中泊した。

土曜日の夜はかなり冷え込み、－１℃まで下がった。シュラフと毛布、ダウンジャケット、フリースを着ても寒かった。翌朝は５時起床で準備を始める。朝はかなり冷え込んでいて車には霜がはっていた。出発の準備をし終わって、出たのが６時４５分だった。

麦草峠から茶臼山に向かうと、すぐに茶水の池があった。水は少なく小さな池だった。登山道は針葉樹林の森で、苔むした深緑の森である。宮崎駿監督のもののけ姫の森のようで、趣があってよいところだ。広く平坦な樹林帯なため、赤テープの印がないと迷いやすい。富士山の樹海に似ている。慎重にルートを見極めたい。

しばらく行くと、岩場の開けた場所に出た。中小場の案内板が立っていた。今日は快晴の天気で、遠方の山々がよく見えた。ほどなくして茶臼山の展望台に着いた。見晴らしがよく、遠方に雪を被った北アルプスや御嶽山、中央アルプス、近くに南八ヶ岳などがよく見えた。風が少し冷たかった。縞枯山に向かうと枯木の林が多く見られ、生木と枯木が縞柄になっており、そのため縞枯山と名付けられたのか。枯木の原因は酸性雨の影響との説がある。

ロープウェイ近くの坪庭（熔岩と低木の庭園）辺りから、観光客と登山客か多くなり、北横岳ヒュッテや北横岳山頂まで続いた。北横岳ヒュッテから七ツ池に行くと水のきれいな小さな池が２つあった。３から７つ目は立ち入れないようだ。ヒュッテの飲料水は池から引いているのかも知れない。北横岳では蓼科山がよく見えた。

亀甲池経由で双子池方面に向かうと、急に登山者が減り、３人ほどしかすれ違わなかった。ここから双子池までも、シラビソ、コメツガ、トウヒなどの針葉樹林の苔むした静かな森であった。亀甲池は河原のような周囲の浅い池だった。薄暗い苔の生えた樹林帯の道をしばらく行くと、双子池の雌池が見えた。池周辺がキャンプ地になっていて、雌池を周り雄池に行くと双子池ヒュッテがあった。ここの飲料水は雄池から引いていた。水はきれいで保全されている。

雨池方面に林道を行くと、一部土砂崩れにより通行止めで迂回路になっていた。林道からは落葉松林の黄葉が見られた。林道から雨池登山道に入ると、樹林帯の不明瞭な道で、赤テープを頼りに進み、夕方近くなってようやく雨池が見えた。夕方ということもあり、誰にも会わなかった。ひっそりとした広く浅い池で、秘境のようなところだった。雨池を後にして麦草峠へ向かうと、木道が続き、夕方の日没前のためか、登山道の両側に鹿が 2 頭、草を揺らして表れた。蹄の音がはっきり聞こえた。ほどなく茶水の池に出て、麦草峠に到着した。

翌日は７時から、白駒池、ニュウ方面に向かう。白駒湿原の草原もあり、白駒池、ニュウ周辺も針葉樹林の森

がきれいだった。白駒池はこれまでの池で一番大きく深そうで、水鳥も沢山泳いでいた。青苔荘付近にはボートの船着き場もあり、車道に近いため、観光客も多いようだ。

ニュウは山頂が岩場で３６０度開けていて、展望抜群だった。富士山と硫黄岳と天狗岳、奥秩父、通って来た白駒池も見えていた。中山方面に行く人は半分ほどに減った。天狗方面の中山峠との分岐を通り、中山山頂は展望が無いので、中山展望台で休憩した。岩が積み上がった山頂だ。ここの展望も素晴らしかった。天狗岳がより大きく見えた。高見石小屋までかなり下り、白駒池に行く道と分かれていたが、少し休んで丸山方面に行った。丸山を超えて麦草峠に下りると、登山者数パーティーが登ってきた。

１４時頃駐車場に到着した。今回は快晴で眺望もよく、北八ヶ岳は苔むした針葉樹の森と池のある良い山だった。

23年度神奈川県連　交流会(ハイキング部門)の活動について

日　時：２０２３年9月２３日（土)、２４日（日）
参加者：M&C　久保、藤沢山の会　岩田、川越、やま++ 小木戸、中村（記）
山行コース：
９月２３日（土）　金峰山荘１１：０５―廻り目平キャンプ場―カモシカコース・小川山分岐１１：４５―１３：０５唐沢ノ滝―１３：２５金峰山荘(泊)　（歩行時間＋休憩時間　３時間２５分）
９月２４日（日）　金峰山荘６：１５―７：５０カモシカコース・小川山分岐―９：１５小川神社９：３０―１０：３０金峰山分岐―１０：３２小川山１０：５５―１３：００カモシカコース分岐―１４：２５金峰山荘（歩行時間＋休憩時間　８時間１０分）

活動について：
●９月２３日　気候　曇

１１時に金峰山荘を出発。昨年パノラマコース経由カモシカコースの唐沢ノ滝まで（カモシカコース北半分）のピストンであったので、昨年カモシカコースで歩き残した唐沢ノ滝～金峰山荘（カモシカコースの南半分）を歩こうということになり、カモシカコースの南半分をまず歩き、昨年と同じルートで金峰山荘まで帰ってくることにした。

昨年一緒に歩いた若澤さんからは、南半分がかなりタフであることを聞いていたが、実際歩いてみると岩稜が多く、ロープやはしごが設置された箇所が数か所あり、なかなかきついコースであった。参加したメンバーの２人は２ストックで歩いていたが、岩稜の続くところはストックなしか、１ストックの方がお薦め。(因みに、久保さんは１ストック)

金峰山荘を出発し、山々からあちこちに尖った岩稜が突き出た廻り目平ならではの景色を見ながらキャンプ場の横にある西股沢沿いの車用の道を歩く。しばらくすると、右手にカモシカコースの道標。そこからいきなり急登である。急登ではあるが、整備された登山道で、幸い昨日の雨の影響は少なく乾いており歩きやすい登山道であった。最近は多くの山で階段状の山道が多いが、ここは白樺、ブナやシラビソの生えた自然の山道である。私はこのような山道の方が好きである。登山道を覆い隠すような多くの木々が日陰を作ってくれている。また、木々の下には驚くほど沢山のシャクナゲが生えている。シーズンにはさぞかし美しいであろう。この時点で全員汗だく。湿度が非常に高い。

林で覆われた急登の登山道を抜けると岩場がでてくる。巨岩の間を縫うように登る。激しいアップダウンだが

ロープやはしごが設置されており、ひとつひとつ慎重に登れば問題ない。

岩稜が続く中で、本来、小川山の分岐の唐沢ノ滝方面に右折しなければならない所で道標を見逃して、すぐ先の展望台まで行って初めて自分たちのルートが間違っていたことに気づき、少しコースを戻って道標を確認する。小川山／金峰山荘分岐の道標が倒れていたのだ。これでは見逃すはずであり、これから来る登山客の為に倒れていた道標をしっかり立て直す。

小川山の分岐から、急な下り坂を唐沢ノ滝に向けて下る。途中ところどころ、足場の確保しにくい岩稜があり、ここも重心を低くして慎重に下る。久保さんより、岩稜の下り方についてアドバイスがある。「次の一歩だけどこに足をおくかを考えるのではなく、３歩、４歩先までルートをどう取るか、を考えて下るように。また、下りの時は岩から体を離して足場がしっかり見えるように。足を足場に乗せた時に体重をかける前にしっかりした足場かどうかを確認するように。」

久保さんからの実際に登っている現場での実践的なアドバイスはありがたい。さしずめゴルフでいうところの、ラウドレッスンというヤツである。今回、本来クライミンググループに参加する久保さんに対し、岩稜が多いのでアドバイザーとして参加してくれないか？と依頼したのは川越さんの機転によるものだが、これが大正解。快く引き受けてくれた久保さんに感謝。日ごろ山岳講習協議会などで、理事長の早川さんからは「どんな講習をしてほしいか、については、会員からどんどん提案を出してほしい」という発言もあり、川越さん、小木戸さんからは「ハイキングチームに向けて、普通の登山靴での岩登りの初歩の講習を是非行ってほしい」とのアイデアがまとまったようだ。講師は勿論久保さん。

ようやく、唐沢ノ滝に到着。ここで少し長めの昼飯休憩を取る。ここからは岩稜もなく問題ないと思った矢先に、木道が２か所ありとても滑りやすいところで転倒。油断は禁物である。

毎年１．５～２か月程ヒマラヤに行っている久保さんからは「ビスター―リ、ビスター―リ」の掛け声がかかる。ネパール語で「ゆっくり、ゆっくり」という意味だそうだ。すべりやすい道や急峻な岩場は特に「ゆっくり、慎重に」がモットーである。

●９月２４日　気候　晴れ

小川山分岐までは前日と同じコース。前日に歩いたので、岩場の危険個所はさすがに問題なく通過。分岐よりはしばらく厳しい岩場が続くが、それ以降の小川山への登山道は厳しくなかった。

林に囲まれた登山道が続く。ところどころ、林が途切れた所があり、周囲の奇岩を眺めることができる。昨日

と違い晴天なので気持ちが良い。小川山の頂上は残念ながら展望は無く、「小川山　山梨百名山」と書かれた道標で写真を撮り、そそくさと来た道を下る。

この小川山ハイキングコースはあまり登山者が来ないのか、シャクナゲ他の灌木が登山道を覆い隠していたため、２～３回コースをはずしそうになった。小川山／金峰山荘の分岐まで戻り、一路金峰山荘へ。昨日の教訓で木道を含む滑りやすい箇所は慎重に歩いて無事下山。

今回も昨年と同様、アドバイザーの久保さんを含めた５名のハイキング、交流はとても楽しいものであった。来年はもっと多くの参加者をえて、さらに楽しい交流会を行いたいものである。

＜参加者感想文＞

〇藤沢山の会　縄　壮

去年に引き続き今年も交流会に参加させていただきました。昨年までは、小川山の山域はどうしたら良いのか、どこへ行ったら良いのか、分らなかったのですが、ようやく小川山のエリア等が頭に入ってきました。会のメンバーから小川山に行ってみたいという声もあったのですが、今までは連れていくなどは全く考えませんでした。これからは、自力でなんとか開拓していくことができそうです。

そして、小川山に目標とするルートも何本か出来たので、これからが楽しみに通うつもりです。藤沢山の会のメンバーだけでは、行くことの難しいルートに簡単に行くことができて、また、いろいろな知見を得ることもでき、とても有意義でした。そして隊長の焼いてくれるお肉はメチャウマでした！！

来年もあれば是非また参加したいです。

〇藤沢山の会　今村

小川山ガマスラブ、ガマルート、涸沢岩峰群の一部を体験しました。スラブはかなり滑りやすくフリクションを使うためにもしっかりと体重を乗せる感覚が大事だと体感できました。特に涸沢岩峰群では早川さんリードのセカンドで、システムやロープワークを学ばせていただき、貴重な体験となりました。

〇藤沢山の会　岩田新一

２３日カモシカコース。樹林が濃く雨が乾かず水分をたっぷり浸み込ませた木の根がツルツル滑り、歩きにくいことこの上ない。おまけに梯子・鎖場が数か所ありかなり難儀なコース。見晴しも悪く時折木々の間から金峰山や廻目平の岩峰が見える程度。おまけに道標が間違っており、早めに気づいて大事に至らなったが、ハイキングコースと銘打っているにしては整備が不足。翌２４日はカモシカコースの途中から小川山へ向かう。こちらも同じように難儀なコース。特に下山でかなり気を使う。２日間で８回スリップ転倒、左ひじを打撲。またこのコースを歩くならチェーンスパイク装着が絶対条件。また、枝の切跡・折れ跡に足を引っかけて擦り傷数か所。たいしたケガではないが、ずいぶんと苦労したコース。２日間とも他の登山者とまったく出会わなかった。この山行で転び方を思いだし、１本ストックの使い方を習得し、登山靴ソールの張替を決断したのは成果だった。

〇藤沢山の会　川越まち子

小川山は山と高原地図ではハイキング上級と書かれ破線コースで、事前にネット情報や行った人の記録は調べて

いたが、本番でも岩場、梯子、滑る木の板や根も多く、登りより下りに気を使い、転倒に注意しながら歩いた。金峰山、瑞牆山のように展望や華やかさがないためか、誰とも会わない原生林の静かな山だった。岩場の上にひっそりと小さな祠の小川神社があり、山頂近くの樹林帯はコケやシャクナゲが多く６月の最盛期にはピンクの花で埋まり、素晴らしだろうと想像できた。今回は、２日後にヒマヤラに出発を控えていた、クライマーでもあり、県連教育部の安全登山で机上講師をやって頂いた久保さんから、フォローして頂けたので、安心して登ることができた。来年は県連でハイキングにも役立つ岩稜トレーニングをお願いしたいねという意見もメンバーから出て、有意義な山行となった。

夜は大型テントでＢＢＱと交流会があり、普段はクライミングの人と交流する機会は殆んどないが、クライミング、ハイキングの区別なく、同じ県連の仲間意識を感じ、楽しい時間を過ごせた。昨年よりも各会や参加人数は少なかったが、その分全員の顔や名前が憶えられて良かった。

〇やま＋＋ 小木戸

今回の交流会では自分が以前から登ってみたいと思っていた小川山に登る予定と知り、初めて参加させて頂きました。参加を決めた後で詳細を確認したところ、案内文書には交流会について「参加者のこれまでの活動や今後の活動の展望の発表、所属会の紹介、その他自由討論、研究発表も可」と書かれており大いに青ざめました。

さて、小川山とカモシカ遊歩道は期待以上の楽しいコースでした。岩ありハシゴあり滝あり苔ありキノコあり。木の根が滑りそうで怖くて降りられないところも実はあったのですが、経験豊富な K さんが手取り足取り指導して下さって、何とか無事通過出来ました。道間違いをしかけて分岐まで戻った時は、倒れていた標識を立て直したり、登山道からは見えない小川神社の小さな祠を岩によじ登って写真に収めたのも個人的には大満足でした。

そして本命の交流会ですが、もうとにかく美味しくて楽しかったです。昼間はクライミングとハイキングで別行動だったけれど、夜の BBQ では参加者全員が一つになり、お肉が焼ける度に並んで配給を受け、平らげた後は飲み物を片手に色々な話題で盛り上がる、堅苦しさのかけらもない交流会でしたが、参加前には見えなかった今後の活動の展望も開けて、これからの山行が益々楽しみになりました。お世話になった皆様、本当に有難うございました。

常任理事会議事録（Ｚｏｏｍ）

日　時：９月３日（日）２０：００～２１：００

出席者：早川・渡辺・関根・岩田・縄　入木田（事務局）

早川理事長より

〇新理事　銀嶺会からの方、教育部へ。

自然保護部より　関根

〇関東ブロック交流集会。詳細を９日に詰める。各都県から報告。全国自然保護委員長と事務局長参加。

〇石巻ボランティア、神奈川から８名、計 11 名。

事務局部より

〇１月の常任理事会１４日（日)および各会事務局長会議 23 日㈫に決定

〇第３９期定期総会について　３月１０日　会場未定（事務局部土屋担当）

〇総会までのスケジュール→別紙

〇全国連盟第３６回総会について　２／１７・１８府中コンチネンタルホテル。代議員２名（神奈川）→早川・岩田　理事→三瓶（早川より連絡）　監事→渡辺

〇全国役員・組織数提出について　１１月末現在の組織数を１２／２５締切→岩田が作成、提出

読図実技講習会報告　倉岳山　　10 月 29 日（日）実施

天候　朝所により雨、現地晴時々曇　総勢

人員構成　受講者 18 名　講師７名　5 班体制

1 班講師　井上　受講参加者 3 名、2 班講師　縄、小野　受講参加者 3 名　3 班講師　鍋野　受講参加者 4 名、4 班講師　若澤　受講参加者 4 名、5 班講師　神谷　受講参加者 4 名　　統括　早川

ルート概要　大月市内の倉岳山にて実施。　登り　梁川駅～北東尾根、下り　北西尾根～小篠コース～鳥沢駅

8：45　中央線梁川駅前集合　ミーティングの後、各班 5 分おきに出発。

850m 地点にて昼休憩、一旦全班集合。ここで再度 5 分おきに出発。山頂から下降路を班毎に分かれて行動。

小篠貯水池工事作業所で全班集合。鳥沢駅に下山。15：55 到着。16：19 発の電車に乗車して終了。

受講参加者アンケート結果

Ⅰ　講習の内容の満足度

① たいへん満足した　7 人（53.8%）

② 満足した　　6 人（46.2%）

③ どちらともいえない　0 人（０%）

④ やや不満　　0 人（０%）

Ⅱ．講習に満足した理由

・コンパスの使い方や、地図の見方について詳しく学習できた。

・もう少しロストできるルートの方がよかったものの、山行中に普段意識していないポイントを指摘していただき、参考になったから。

・他の人の地図への書き込みを見ることで参考になりました。地形図と実際の地形を細かく確認しながら歩けたのが良かったです。

少人数チームで雰囲気が良く質問しやすかったです。何より楽しく講習を受けることができました。

・1 班でしたが、講師が丁寧に指導してくれた

・読図がやっと理解出来た為。

・少人数のグループで地図を見ながら実際の地形とリンクさせることができ、地図読みのポイントも教わっておもしろさを感じた。歩きごたえもあった。講師の方がところどころで声をかけ盛り上げてくれて、楽しく参加できました。

・時間が十分あり、納得いくまで確認しながら進むことが出来た。

・講師の説明が丁寧でわかりやすかった。

・サポートが親切だった。

・コンパスの使い方を教えてもらいながら何度もやっているうちに、だんだん慣れてきた。

地形の見方もわかってきた。

・コンパスの使い方を丁寧に教えてもらった。

Ⅲ　講習の理解しやすさ

① とても理解しやすかった　　7 人（53.8%）

② 理解しやすかった　　6 人（46.2%）

③ どちらともいえない　　０人（０%）

④ やや理解しにくかった　　０人（０%）

Ⅳ　講習が理解しやすかった点及び感想

・実際、山の地形を見ながら、地図の説明をしてもらい、イメージしやすかった。

・地形図と現地の地形が合ってるのが理解できた。コンパスを使って進行方向を決める事が出来た。

・地理院地図をプリントして持参した。リーダーさんが持っていた詳細地図を共有できたら、さらに情報が増えて、読図の手助けになったかと思う。

・気づきを教えてくれた。

たくさん教えられても頭に入りにくいのでシンプルで良かった。

・講師の説明はよくわかった。

・現在地を正確に知るのは、高度計だけだと難しい。

Ⅴ.　今後の登山計画で生かせそうだと思ったところや、言葉はありましたか？

・登山する前に、十分下調べをし、まず、地形図から、山をイメージすることの重要性

・対面の尾根の高度や距離から現在地を特定するヒントを得る点。

・地形図は今までプリントアウトするだけだったので、確認ポイントや書き込む内容など活かしていこうと思いました。

・自分も会でリーダーや指導する側にたった時、こんなふうに説明したらいいのだと、参考になりました。

・尾根の分岐に注意する。

人工物がある場所をチェックし、ヒントにする。

・地図に尾根線と谷線を記入することで、山がぐっと立体的に理解できました！出発前に若澤さんの地図を見せてもらい、それを参考に自分も線を記入しました。

谷線だけでもいいので丁寧に線を引くとよい、と言われたことは今後実践したいです。

・机上講習で「木を見て森も見る」と言われましたが、地図と実際の地形を目で確認しながら歩いたり、時々遠くの山や地形、隣の尾根を見て地図と合わせて距離感覚を覚えたりと様々な視点から読図を楽しめました。今まではほとんど地図とコンパス、登山道だけ見ていたので「森を見る」という意味が良くわかりました。

・今までは木を見て森を見ていなかった。近くの地形だけでなく遠景の尾根と地図を照らし合わせることで方向の確認をする。と言うのは新しい気づきだった。地図を見る楽しみがまた一つ増えた。

・使用する地図が重要だという点を認識させてもらえた。

・山行前に地図の尾根、沢を見て、迷いそうな地点をマークすることに時間をかけると、山へ入ってからも、地形を見ながら楽しめる。

・後ろを振り返って地形を確認しておく。

Ⅵ.　今後、県連で企画する講習会の科目や内容への要望事項など

・今後も読図講習会を続けて行ってほしい

・県連読図講習会実技は昨年に続いての参加です。1 年目は登山口を間違い尾根をはずした事もあり、今年は意識し、地形図も細かくみた成果がありました。来年度も継続をお願いします。

・読図講習や実技、岩トレ、沢、雪山講習　　自分のクラブで参加機会が減っているため

・テント泊

・カラビナとスリングでの簡易ハーネスの作り方を教えて欲しい

・雪山縦走講習

・記入が大変で書けなくてすみません。

とても楽しかったですし、勉強になりました。どうもありがとうございました。また参加します。

Ⅶ. 回答した人の所属会

藤沢山の会６人　アルパインクラブ横浜３人　川崎勤労者山岳会１人　川崎ハイキングクラブ１人

相模アルパインクラブ１名　みずなら山の会１名　（18 名中 13 名回答）

『関東ブロック 救助技術交流会』報告書　10 月 15 日（日）［雨］ 実施

場所：榛名山二ツ岳オンマ谷（雨のため、集合地の東屋）にて

参加者：［主催］群馬 １８名、［各都県］東京 ９名、埼玉 １名、茨城 ２名、神奈川 ３名（早川、森、鍋野）

訓練内容・スケジュール：

8:00 ～10:00 頃： 集合、説明、屋根の下にてシート梱包・搬送の訓練（Ａ・Ｂ班）

10:30 頃～12:30： 全体討議（訓練について、救助隊の現状・課題・対策について）

※当初は、無雪期組織レスキュー基礎訓練として「①要救者のシート梱包法およびストレッチャーへの収容、

②搬送およびロープを使用した引き上げ引き下ろし」の予定であったが雨のため内容を変更して実施。

内容： 雨の降る中、関東ブロックの総勢３３名が集まり、実技訓練（梱包・搬送訓練）、全体討議を行った。当初予定の内容は雨で実施できなかったが、短い時間の中で各都県の方々の意見交換ができた良い交流会でした。

前半は、東屋の下で「ツェルト梱包とストレッチャーへの収容」を行った。

（群馬のデモ→意見交換→２班の訓練。梱包準備→ツェルト梱包→ストレッチャーへの収容とロープ連結）

・要救助者の意識のあるうちに、可能な限り声をかけて、必要事項を聴き出すことが重要であることを再認識した。氏名、緊急連絡先、傷害の状況等。血液型を聞く事もしていたが、これは必要ではない。医療機関で輸血をする際には、必ず血液型を調べる。それよりも、持病の有無、服用している持病の薬の有無を聞き出すべきとの話しが、実例を交えてあった。特に外傷がある場合、ワーファリン（血液凝固因子の産出を抑えて血が固まりにくくし、血栓ができるのを防ぐ）の服用があるかどうかが問題になるとの事であった。今後充分に気を付けると共に、県連内にも注意喚起したい。

・止血の際に気を付けるべき事。基本は圧迫止血法とされているが、スリング等を使って局部的な圧迫を加えると、場合によってはコンパートメント症候群（腕や脚などに外傷を負うことで筋肉が腫れ、コンパートメント（骨、筋膜、筋間中隔に囲まれた区画）の内圧が高まって筋肉、神経、血管などが圧迫されてダメージを受ける病態の総称）を引き起こし、重傷化すれば筋肉の壊死を起こす。実際の山の事故で、後遺症が残った事例がある。

・止血の際、ガーゼ等で押さえる事を推奨されているが、出血が多い場合には、布地が血を吸ってしまい、なかなか止まらない事がある。この場合には、手袋を着用して直接押さえるとよい。

・梱包作業中においても、1 名は見張り要員として頭部側に立ち、2 次遭難や、落石などの警戒と注意喚起を行うこと。安全確保のため、特に注意したい。

・要救助者の保温に留意する。使い捨てカイロは有用である。

・訓練のための作業的な練習になりがちであるが、より実際を想定し、何が重要か・何に注意して行動すべきか

などを常に考えることの重要性を学んだ。

後半は、屋根の下に全員が集まり全体討議（訓練について、救助隊の現状・課題・対策について）を行いました。

［主な議題や意見など］

・「要救助者を発見した際に、まずどうしてこの状態になったのか」を考えることが特に重要ではないか。

このことを訓練のメニューの内容に含め組み立てたい。、

・事故現場出くわしたときに、その場にいる方をまとめるようなリーダーとなれる人材が必要だと感じている。実際の場面では、その場にいる他者と共に対処できるようになることが必要ではないか？山行リーダーでなくても、医療関係者等、資格や知識を持っている人がいれば、その人が指揮者になれる。

・その他討議、意見・情報交換

・埼玉県連　遭難防止安全対策委員会を設置した。ハイキング系からの要望による。参加者が増えてきている。

　岩場の通過講習会等実施。一時、救助隊不要論が出た事があったが、アンケート調査を行い、今後も継続する事となった。

　沢の事故で、救難ヘリコプターが接近できず地上部隊も入山困難な場所で、仲間内の有志で対応した事がある。

・東京都連　救助隊の他、安全対策委員会を設置している。

また、会員に見せる事ができる技術を持っている事が重要であると認識している。また、事故発生の場所によっては、現場に自分達で行かなければならない状況もあり得る。全ての県警が山岳事故に対応できる訳ではない。また、行方不明者の長期捜索は、県連としての使命である。

　ストレッチャーの上げ下ろし。固定ロープの登り返しの訓練を行っている。

　道迷いで事故を起こすのは未組織登山者である。労山等の組織に所属している登山者が、道迷いで遭難する事例はほとんど無い。自立した登山者となるための、組織の力は充分に見て取れる。

・群馬県連　救助隊があるが、隊員の高齢化があり、実働できるか不安が生じている。遭難対策に活動をいこうすべきか、今後の検討課題。ロープワーク講習会、岩場の通過の講習会実施。

　会員の死亡事故があった時、遺品の回収は自分達で行わなければならなかった。危険箇所の下降、登り返し技術がある救助隊が対応した。

　山岳救助に対応するためのドローン購入を目指している。現在クラウドファウンディングで資金を募っている。

・その他　高度な技量を持った会員がいる一方で、基本的な歩き方ができていない、そもそもの山の準備ができていない会員がいる。二極化の傾向を感じる。

　携帯電話で救難ヘリコプターを呼ぶ事に躊躇を感じない登山者がいる。特に未組織登山者の最近の傾向。

　公的救助が一般化してはいるが、県警の技量には差がある事に留意すべき。仲間の力は必要である。

・各都県の現状や「どのような思い」で救助隊としての活動を行っているかなど、考えさせられる意見を伺うことができ非常に有意義な交流会でした。主催の群馬県連盟の方々、また参加頂きました各会の方々には感謝申し上げます。ありがとうございました。

神奈川県勤労者山岳連盟各会の活動報告　2023年　10月

活動報告送り先：ホームページの連盟員のページから

沢:沢、講習会:講	人数	形態	H:ハイキング、A一般登山、S雪山	人数	形態	SKI山スキー、R岩、氷 アイスクライミング	人数	形態
銀嶺会(https://ginreikai101.wixsite.com/ginrei)								
報告：　計5名（男0　女5 ）　平均年齢								
9/26 甲府幕岩	1+2	R	10/8 甲府幕岩	1+3	R	10/21 小川山	1+3	R
9/30-10/1 二口渓谷	1+他	R	10/11 裏六甲烏帽子岩	1+1	R	10/21 北高尾山稜	1	A
9/30-10/1　小川山（労山講習）	1+他	R	10/14-15 プリンセスカップ（ドラツー）	1+他	R	10/22 五郎山	1+5	R
10/6-9 神居古潭	1+2	R	10/14 御神楽岳湯沢ダイレクトスラブ	1+1	R	10/22 尼厳山	1+4	R
10/7 瑞牆	1+3	R	10/14 瑞牆	1+2	R	10/24 甲府幕岩	1+1	R
10/8　月山	1+1	A	10/21-22 瑞浪	1+4	R	10/21 天狗山	1+1	R
川崎勤労者山岳会　機関誌:「あざみ」　http://sangakukai.wix.com/kawasakirouzan								
報告:田中良子　計17名（男11女6）　平均年齢54.0歳								
9/28北八ヶ岳 北横岳-縞枯山	2	H	10/8-10/9実川　硫黄沢	4	沢	10/21湘南鷹取	2	R
9/28奥多摩　天地山～鋸山～大岳山	1	H	10/7湘南 鷹取	2	R	10/22奥多摩・川苔山	5	H
9/30-10/1廻り目平（秋山集中）	4	R	10/14二子山・中央稜	2	R	10/22三つ峠	2	R
10/5-10/6奥多摩（雲取山～長沢背稜～軍畑）	1	A	10/14栗駒山(須川岳)	1	H	10/22会津駒ヶ岳	2	H
10/8三頭山	2	H	10/14榛名山	3	H	10/26三頭山	1	H
10/8東栗駒山-栗駒山	1	H	10/21高尾山	1	H	10/28湘南鷹取	2	R
川崎ハイキングクラブ　機関紙「りんどう」			http://kawasaki-hc.life.coocan.jp/					
報告:守口尚美　計94名（男42　女52 ）　平均年齢68.歳								
9/16-19　森吉山・焼石岳／岩手・秋田	5	A	9/24　大蔵高丸・大谷ヶ丸／小金沢連嶺	11	A	10/3-4　那須三山／栃木県	3	A
9/17-18　みちのく潮風トレイル／東北	7	H	9/25　よこやま道／町田市	7	H	10/8　多摩自然遊歩道／川崎市多摩区	11	H
9/17-18　竜ヶ岳／山梨県	4	A	9/27　室内例会	29		10/7-8　天狗岳・本沢温泉／八ヶ岳	3	A
9/19　幕山／湯河原	3	H	9/29-30　木曽駒ケ岳／中央アルプス	2	A	10/10-11　岳沢小屋・上高地／長野県	1	A
9/22-25　平ヶ岳・越後駒ケ岳／上信越	3	A	9/30-10/1　燧ケ岳／尾瀬	3	A	10/11　日の出山／奥多摩	6	A
9/23-24　七面山／山梨県	3	A	10/1　幕山公園・城山／湯河原	19	H	10/14　奈良倉山・鶴寝山／山梨県	12	A
やま++　http://yamaplapla.sakura.ne.jp								
報告：計18 名（男10女8 ）　平均年齢60.7歳(23/10/31現在)								
10／2-3中央ア　木曽駒、宝剣岳	3	H	10／8奥秩父　瑞牆山（カンマンボロン）	2+1	H	10／15－16八ヶ岳　硫黄岳、東天狗岳	2	A
10／16北関東　子持山	4	H	10／16北関東　御荷鉾山、赤久縄山	2	H	10／28－29会山行　北関東芝草山	8／1	H
小田原ナーゲル山の会　機関誌:　ﾎｰﾑﾍﾟｰｼﾞ https://www.nagel.jp								
報告者:西村　悟志　計19名（男12　女7）　平均年齢　60歳　（5月現在）								
10/1東北　栗駒山	1+1	A	10/8東北　栗駒山	1+1	A	10/14伊豆三山	1+1	A
10/6丹沢　大山	1+1	A	10/8箱根　山伏平	1	A	10/21関西　藤原岳	2	A
10/6南ア　鳳凰三山	1+1	A	10/9東北　神室山	1+1	A	10/22箱根　矢倉岳	1	A
10/7東北　鳥海山	2	A	10/12箱根　明神ヶ岳	1	A	10/22関西　御在所岳	2	A
10/7東北　五葉岳	1+1	A	10/13新潟　粟ヶ岳	2	A	10/22上信越　榛名山	2	A
10/8東北　磐梯山	1	A	10/14新潟　守門岳	2	A	10/28南ア　北岳	1+n	A

10/8東北　焼石岳	1+1	A	10/14丹沢　塔ノ岳	1	A	10/28南ア　入笠山	1+3	A
山岳会　カモの会			http://www.kamonokai.com/hp/index.html					
報告:カモの会事務局　計57名　（男34　女23 ）　平均年齢42.6歳								
10/02 中田切川、大荒井沢、空木岳	1+1	沢	10/07 小川山（代替：山梨の岩場）	1+1	R	10/14 有笠山(代替：他の岩場)	1+1	R
10/02 木曽御嶽山	1	A	10/08 日本山岳耐久レース ハセツネCUP	1	A	10/14 瑞牆	1+1	R
10/02 小川山	1	R	10/08 小川山	1+2	R	10/14 ニシゼン	2	沢
10/06 蔵王山 大朝日岳 月山 鳥海山	2	H	10/08 武尊沢	2	沢	10/16 瑞牆、小川山、他長野、山梨の岩場	1	R
10/07 東北遠征(早池峰・岩手・八幡平)	1+2	H	10/08 大菩薩沢	1+3	沢	10/21 瑞浪	1+1	R
10/07 蔵王連峰　丸山沢	1+1	沢	10/08 瑞牆	1+1	R	10/21 太郎山 – 赤薙山	1	A
10/07 柳沢川　赤岩大滝	1+1	沢	10/08 小川山	1+1	R	10/21 釜ノ沢東俣	3	沢
10/07 伊藤新道	1+1	A	10/13 杁差岳・北股岳	1	A	10/21 八ヶ岳（硫黄岳/赤岳）	3	A
10/07 有笠(他、代替の岩場)	4+1	R	10/14 以東岳・大朝日岳	1	A	10/21 谷川岳?茂倉岳	1+3	A
10/07 栗原川?ツバメ沢?ケヤキ沢	4	沢	10/14 平ヶ岳・燧ケ岳	1	A	10/21 有笠フリー（代替：その他の岩場）	4+1	R
10/07 乾徳山（甲斐駒ヶ岳代替）	2	A	10/14 広沢寺	3	R	10/21 瑞牆（代替：長野の岩場）	1+1	R
10/07 赤岳　県界尾根	1	A	10/14 甲府幕岩（代替：長野、埼玉、東京の岩場）	1+2	R	10/21 小川山　等	3	R
10/07 十二ヶ岳の岩場	1+2	R	10/14 檜又谷大スラブ沢	1+1	沢	10/22 湯河原幕岩	3	R
						10/24 甲府幕岩	1+2	R
会名　みずなら山の会　ホームページ　http://www.mizunarayama.com/								
報告者　木津博子　人数　31名（男 17名・女 14名）平均年齢　67歳								
10/1丹沢ミカゲ沢の頭	5+1	バリ	10/12大室山（富士精進口）	7	H	10/22.23北八ヶ岳（茶臼岳・北横岳）	1	A
10/5丹沢　塔ノ岳	1	A	10/14赤城山	5	バリH	10/23～28韓国の山	1+3	H
10/7・8奥秩父　和名倉山	1	A	10/20西丹沢　大野山	2	H	10/26　高尾山	3	H
10/7裏丹沢　棒の木丸	3	バリ	10/21湘南　鷹取山	1+1	R	10/29　倉岳山	1＋他	読図講
10/10.11那須　茶臼岳	4	H	10/22裏丹沢　棒の木丸	6+1	バリ	10/29　本社が丸	4+1	H
Grazie　http://ocha-time.xsrv.jp/								
報告：相川　時子　計15名（男10　女5　）　平均年齢44歳								
10/1　モミソ岩	6	R	10/7-10/9　皇海山・日光白根山	1＋1	A	10/8　白毛門沢	1+2	R
10/8　白神山	1	A	10/8　金時山	1＋1	A	10/9　岩木山	1	A
10/14　三つ峠	2＋1	R	10/14　天狗山	2	R	10/14-10/15　木の又小屋（塔ノ岳政次郎尾根）	2	A
10/14-10/15　焼岳	1	A	10/21-10/22　城山	1＋3	R	10/21-10/22　奥鬼怒大岩沢	1＋2	R
10/21　子持山獅子岩	2	R	10/21-10/2　小川山	1＋1	R	10/21-10/22　木の又小屋（塔ノ岳政次郎尾根）	2	A
10/28　小川山	2＋1	R	10/28-10/29　木の又小屋（塔ノ岳政次郎尾根）	2	A			
相模アルパインクラブ　https://sagami-ac.sakura.ne.jp/								
報告：山行管理部　計43名（男27名 女16名）　平均年齢 52歳								
9/30～10/1 小川山 講習	3	R	10/8 子持山獅子岩	1+1	R	10/22 大山南稜	1	A
9/30～10/1 甲府幕岩	2	R	10/8　兜岩	2	R	10/22 南ア鳳凰三山	1	A
9/30～10/1 小川山	1+1	R	10/8～9 甲府幕岩	1+4	R	10/22 太刀岡山 左岩稜	2	R
10/1 富士川水系笛吹川芦川横沢	8	沢	10/8～9 上山田 坊抱岩	1+1	R	10/22 四国山地 次郎ギュウ～剣山～一の森～周回ルート	1+1	A

10/1 丹沢広沢寺	2+1	R	10/9～10 火打山、妙高山	1+1	A	10/21～23 北ア 伊藤新道 裏銀座縦走	2	A
10/20～3 小川山	3	R	10/10 小川山	1+1	A	10/23 城山	3+1	R
10/2～4 石狩山地 大雪山	2	A	10/11 天王岩	1+2	R	10/24 湯河原幕岩	1+1	R
10/6 倉岳山	7	A	10/12 佐久の岩場	1+2	R	10/24 兜岩	2+1	R
10/6 瑞牆山	1+1	R	10/14　城山	1+1	R	10/26　大山南稜	1	A
10/6～7 北八ヶ岳	1	A	10/14　丹沢世附～椿丸～菰釣山～城ケ尾峠～世附	1	A	10/28 湯河原幕岩	2+1	R
10/7 志賀高原　毒水沢	4+1	沢	10/14　瑞牆山	15	R	10/28 横須賀 鷹取山	2+1	R
10/6～7 北ア前穂岳	1	R	10/14～15 西上州、上毛三山 中木川水系谷急沢右股、榛名山二ツ岳オンマ谷	1+2	沢	10/28 奈良 柏木 屏風嵓	1+1	R
10/7　十二ヶ岳の岩場	1+1	R	10/16～17 佐久志賀	3	A	10/28 奥多摩 河又	2	R
10/7　丹沢 三峰山	2	A	10/18　湯河原幕岩	1+3	R	10/28～29 小川山	2	R
10/7 三ツ峠	2	R	10/19　甲府幕岩	1+3	R	10/28～29 瑞牆山	2	R
10/7 大山南稜	1	A	10/21 丹沢 鶴巻温泉～高取山	2	A	10/29 佐久志賀	1+5	R
10/7　奈良 柏木 屏風嵓	1+1	R	10/21 奥多摩 河又	6	R	10/29 上野原（読図講習） 梁川駅～（北東尾根）倉岳山～(北東尾根途中)～石仏～小篠貯水池～鳥沢駅	3+1 6	A
10/7～8　瑞牆山	2	R	10/21 箱根外輪山	1+1	A	10/29 鷲頭山 ペンシルウォール	1+5	R
10/7～8　小川山/瑞牆山	3	R	10/21 奈良 柏木 屏風嵓	1+1	R	10/29　甲府幕岩	3	R
10/7～8　西上州碧岩西稜	4+1	R	10/21 甲府幕岩	2	R	10/29 越沢バットレス	1+1	R
10/8　葛野川大菩薩沢	1+3	沢	10/21 三ツ峠	2	R	10/29～30 北ア黒部峡谷 下ノ廊下	2	A
						10/31 兜岩	2+1	R
藤沢山の会　機関誌：「稜線」　http://fujisawa-yamanokai.com								
報告：大野淳子　計96名（男：39、女：57 ）　平均年齢64歳								
10/1天空の城・竹田城跡（和田山）と朝来山	13	H	10/17富士山（雪山日帰り登山）	4	A	10/29榧の尾山(かやのおやま)	1	H
10/2六甲山系、再度山(ふたたびやま)	3	H	10/21南高尾山稜（セブンサミッツ）	10	A	10/29県連読図実技講習会　倉岳山北東尾根～北西尾根	24	A
10/2谷川岳　西黒尾根	4	A	10/21金峰山	3	H	10/2~4前穂高岳　北尾根	2	R
10/2青根～蛭ヶ岳	2	A	10/21北高尾山陵周回	2	H	10/4~5涸沢カール	1	A
10/6阿弥陀岳南稜（途中まで）	3	A	10/21足和田山(三湖台と紅葉台)	2	H	10/7~8御嶽山	3	H
10/7岩戸山・日金山	2	H	10/22要害山	4	H	10/8~9木曽駒ケ岳	9	A
10/8高畑山・倉岳山	7	H	10/22斧窪御前山	3	A	10/14~15尾瀬ヶ原	3	H
10/8水無川本谷沢登り	3	R	10/22蛭ヶ岳	2	H	10/14~15畦が丸（ビバークと避難小屋泊体験）	7	H
10/8葛野川大菩薩沢	4	R	10/22榧ノ尾山(かやのおやま)	1	H	10/14~15焼岳	3	A
10/8大室山～加入道山	2	H	10/24爪木崎～須崎	2	H	10/19~24キリマンジャロ	2	A
10/10岩殿山	6	A	10/25高尾山	1	H	10/20~21鳳凰三山（夜叉神コース）	4	A
10/13十国峠・日金山	4	H	10/26広沢寺マルチピッチ練習＆アイゼントレ	2	R	10/23~24小川山＆甲府幕山クライミング	6	R
10/14「天女山～権現山」	4	A	10/27三浦半島歩見探訪10	2	H	10/23~25上高地	3	H
10/14三浦半島歩見探訪9	2	H	10/27谷川岳&一ノ倉岳	5	H	10/23~28韓国ソウル近郊の山々（韓国の山に登ろう2023）	5	H
10/14八海山八ツ峰	2	A	10/27倉岳山北東尾根～北西尾根	1	H	10/25~26編笠山～権現岳	3	A
10/14大山・雷ノ峰尾根イタツミ尾根	1	H	10/28沼津アルプス	7	H	10/28~29明神峠～弧釣山～西丹沢縦走	4	A
10/16広沢寺弁天岩	4	R	10/28菩提峠（植樹活動）	4	H	10/28~30高千穂峰・韓国岳・甑岳	3	H
10/16倉岳山北東尾根～北西尾根	3	A	10/28三ツ峠　屏風岩	3	R	10/30~31丹沢主稜～宮ヶ瀬縦走	2	A
10/16瑞牆山	2	H	10/28瑞牆山	2	A			

全国・県連スケジュール

日	曜	１１月	日	曜	１２月	日	曜	２０２４／１月
1	水		1	金	関東雪崩（机上）	1	月	
2	木		2	土		2	火	
3	金		3	日	常任理事会	3	水	
4	土		4	月		4	木	
5	日	常任理事会	5	火		5	金	
6	月		6	水		6	土	
7	火	事務局長会議･事務局部会	7	木		7	日	
8	水		8	金		8	月	
9	木	救助隊運営会	9	土		9	火	
10	金		10	日		10	水	
11	土		11	月		11	木	救助隊運営会
12	日		12	火		12	金	
13	月		13	水		13	土	関東雪崩（実技）
14	火		14	木	救助隊運営会	14	日	常任理事会関東雪崩（実技）
15	水		15	金		15	月	
16	木	教育部会	16	土		16	火	
17	金		17	日		17	水	
18	土		18	月		18	木	教育部会
19	日		19	火		19	金	
20	月		20	水		20	土	
21	火		21	木	教育部会	21	日	
22	水		22	金		22	月	第１回クリンハイク実行委員会
23	木		23	土		23	火	事務局長会議･事務局部会
24	金		24	日		24	水	
25	土		25	月	自然保護委員会	25	木	
26	日		26	火		26	金	
27	月	自然保護委員会	27	水		27	土	
28	火		28	木		28	日	
29	水		29	金		29	月	自然保護委員会
30	木		30	土		30	火	
			31	日		31	水	